東京都指定有形文化財（建造物）

旧本田家住宅だより

Vol.5　2022.7

◎ 当初級番付

旧本田家住宅解体現場から、創建当初のものと考えられる番付が見付かりました。番付は建物の各部材の位置を示したもので、地域や建物により違いはありますが、建物隅を原点とし横方向にいろは歌で、縦方向に数字で表し、「いの三」といった具合で使います。

旧本田家住宅の当初級番付は横方向に「壱二三四五六」、縦方向に「四五六七八九十」というところまでが見つかりました。縦横とも数字で表されている事例は珍しいものです。また、「〇」と書かれた番付も見つかり、絵番付と考えられます。昔は字が読めない人もいたので、絵や記号で番付をする場合もありました。しかし、旧本田家住宅の場合は１列だけ「〇」と書かれていましたので、なぜ数字と記号を併用したのか分かりません。棟梁の気まぐれでしょうか、皆さんも一緒に謎解きをしませんか？

旧本田家住宅平面図（解体前）

当初級番付
「九一下」

当初級絵番付
「〇一」

❋ 本田家旧蔵資料 ❋　その３　和漢各種医療書

本田家９代当主随庵は村医者として近隣に広く知れ渡り、杉田玄白とも交流があったとされています。本田家には『傷寒論』や『解体新書』をはじめ、医学を学ぶための基礎資料から高度な専門書まで様々な和漢の医療書が残されています。

解体新書

和漢各種医療書

発行：国立市教育委員会　生涯学習課　社会教育・文化芸術係（市役所３階 45 番窓口）
☎042-576-2111（内線：323）メール: sec_shogaigakushu@city.kunitachi.lg.jp